

2025-9-26

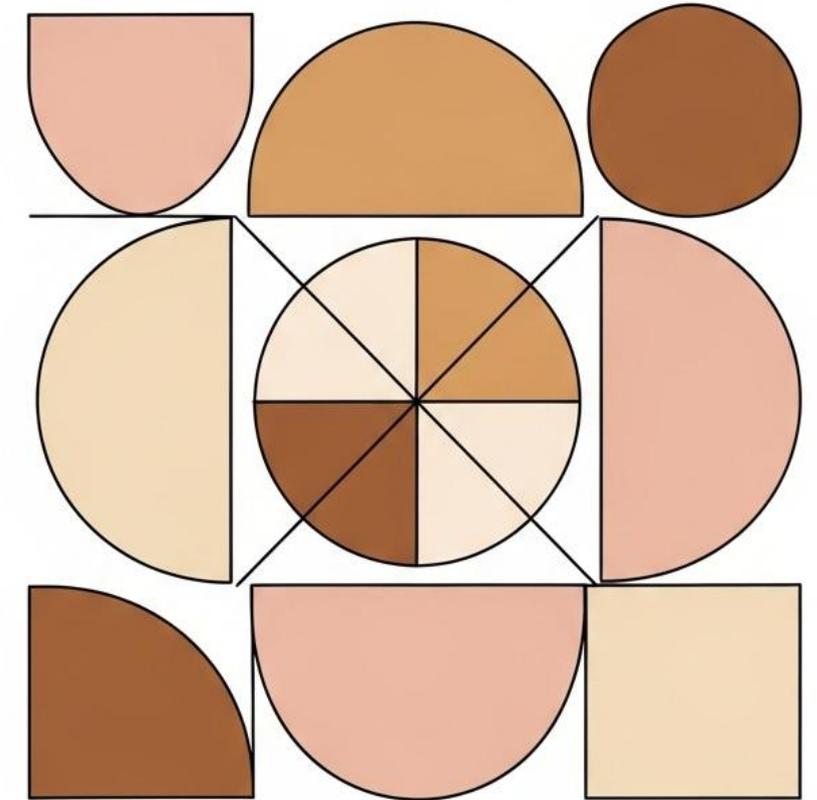
文部科学省委託「他分野連携による新たな障害者の生涯学習のモデル・ネットワーク構築」

超重症児者の学びから地域をエンパワメントするネットワーク構築

# “訪問型インクルーシブ”生涯学習モデル

ビー・プラウ

訪問カレッジ「Be Prau」 埼玉県さいたま市



一般社団法人ケアの方舟 代表理事



訪問カレッジ「Be Prau」 学長 西村理佐



超重症児者対象（重症心身障害＋医療的ケア）  
訪問型生涯学習支援事業

## なぜ『訪問型』か

### とりこぼされる「超重症児者」

“通所前提”のサービス設計は、通えない人の選択肢を奪うだけでなく、その存在を不可視化します。心身のありのままを尊重する訪問型が必要です。

### 外出困難 × 意思疎通の難しさ

「外出困難」に加え、ことば以外で意思を伝える方々には、安心した環境で、個別の意思表出に丁寧かつ継続的に応答する関わりが必要です。

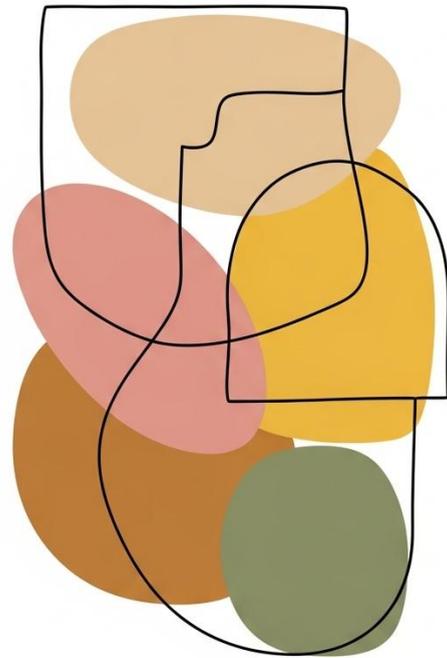
### 誰もとりこぼさないインクルージョン

外に出られる私たちが会いに行く——その一歩がインクルージョンのはじまりです。「訪問型インクルージョン」で、ご自宅が“小さな開かれた社会”になります。

超重症児者対象（重症心身障害＋医療的ケア）

人・しくみ・ネットワーク

# Be Prau Inside



現在の受講生状況

カレッジ生 3名  
昨年度1名から増加

プレカレッジ生 3名  
特別支援学校在校生

来春入学希望者 2名  
(現場実習希望者1名を含む)

支援体制の充実

学習支援員 7名  
元特別支援学校教員

目白大学地域連携事業  
「訪問カレッジサポーター」  
作業療法・理学療法・看護

協力事業所  
特定非営利活動法人合・工房集

連携協議会

埼玉県

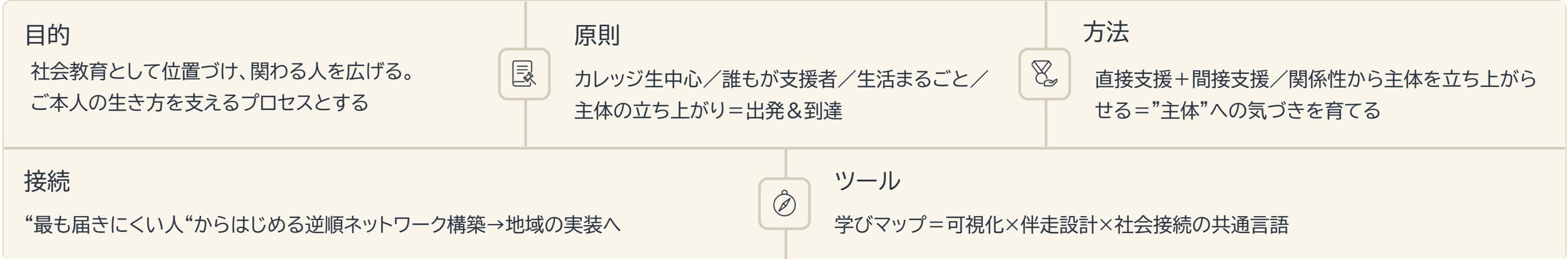
- 生涯学習推進課
- 特別支援教育課
- 医療的ケア児等支援センター

さいたま市

- 特別支援教育課
- 障害福祉課
- 障害者生活支援センター
- 自立支援協議会

特定非営利活動法人合…厚生労働省  
「特別支援学校卒業後における生活介護利用モデルの作成事業」採択団体

目白大学・都留文科大学・埼玉県立大学・立正大学  
十文字学園女子大学・聖学院大学・富山県立大学





# 特別支援教育から次のステージ

# Be Prau リベラルアーツ 主体の学び

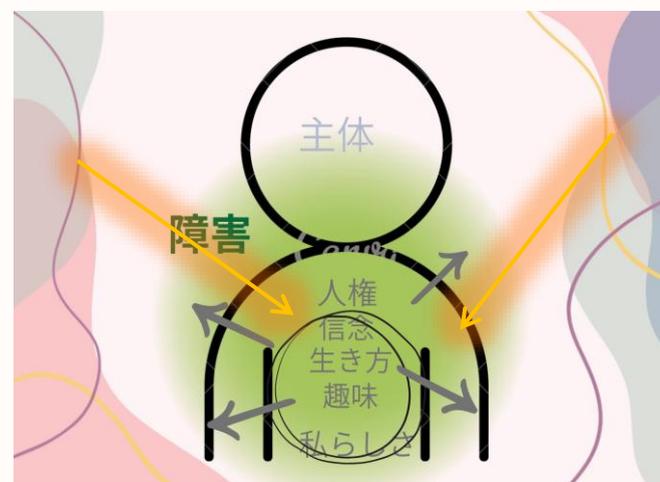
観点	特別支援教育	訪問カレッジ「Be Prau」
対象	学齢期の児童・生徒	学齢期を終えた若者・成人
基本的視点	困難や障害に着目し、「必要な支援」を提供	本人の存在や関心に着目し「学びたい意志」を支える
教育的ニーズのとらえ方	生活や学習上の困難の改善のために支援を調整	社会で自律的に生きる“主体”としての希望や関心に応答
支援の目的	自立や社会参加に向けて「持てる力を伸ばす」	自分らしい人生を歩むための「学びを深める・関係を育む」
アプローチ	課題ベース・目標達成型	関係性ベース・探究と共感型
教える人と学ぶ人の関係性	教える側が支援者／指導者	学び合う対等な「人」としての関係
キーワード	実態把握・支援・指導・課題解決	主体・対話・探究・共生

## 特別支援教育



障害や生活上・学習上の困難に着目した実態把握から課題や目標が与えられ力を伸ばしていく

## Be Prau



障害の有無によらず“主体”はみな同じ内面に働きかける人や場も教材“やってみたい”に対して合理的配慮

## Be Prauリベラルアーツ

### カレッジの取り組み

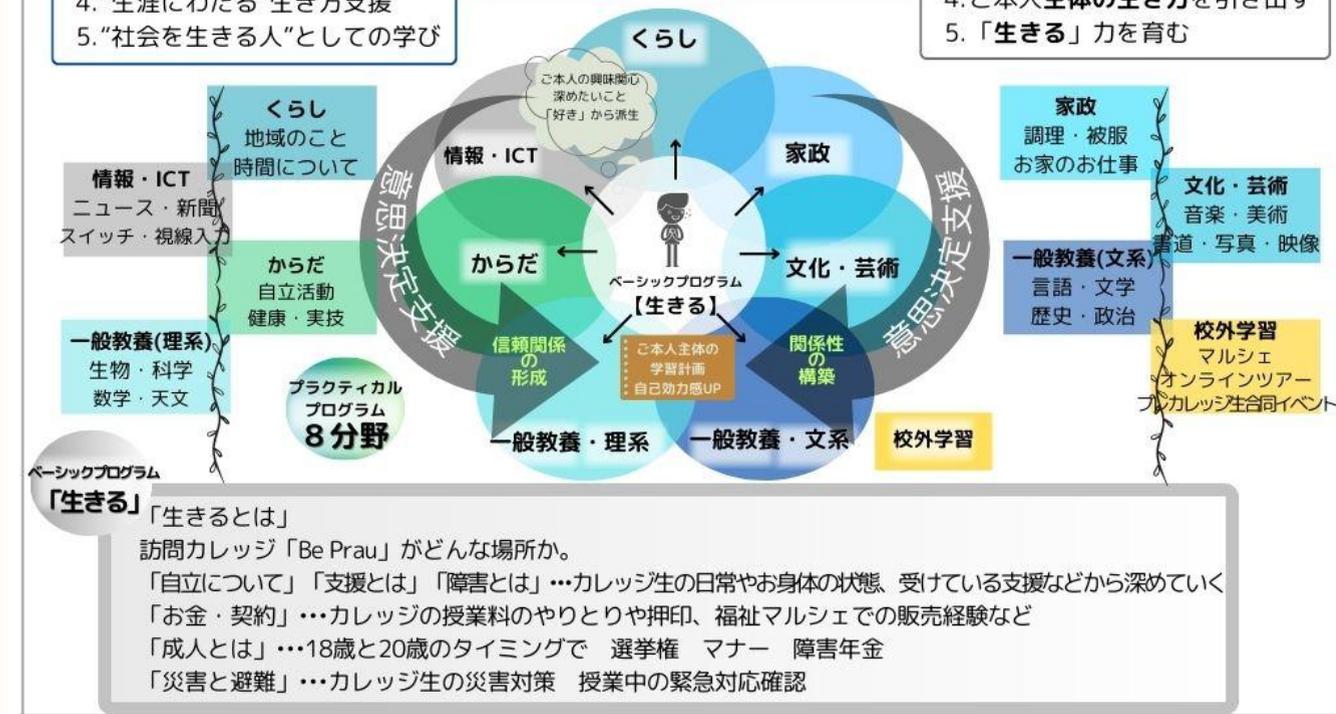
1. 動機づけ/ご本人主体
2. 丁寧な意思決定支援
3. “生涯にわたる”学び支援
4. “生涯にわたる”生き方支援
5. “社会を生きる人”としての学び

### ご本人のカレッジでの目標設定

1. 「好き」興味関心、深めたいこと
2. コミュニケーション/信頼関係形成
3. その時々で変化する興味から学ぶ
4. 学びから探る自分の“生き方”
5. “自立した生き方”を探る

### 指導方針

1. ご本人主体の学びマップ作成
2. カレッジ生活で自己効力感UP
3. ライフステージに合わせた内容
4. ご本人主体の生き方を引き出す
5. 「生きる」力を育む



ご本人の興味・関心を「真ん中」に置き、そこから派生していく学び内容だけでなく、プロセスそのものも大切な学び

# 「Be Prau 学びマップ」

## 超重症児者の学びを見える化するツール

重い障害で見えにくくなった主体を関係性の中で立ち上げる。

ご本人の願いを起点に、多くの方が機会と選択肢を持ち寄る。

その歩み自体を記録・可視化するために誕生した地図、

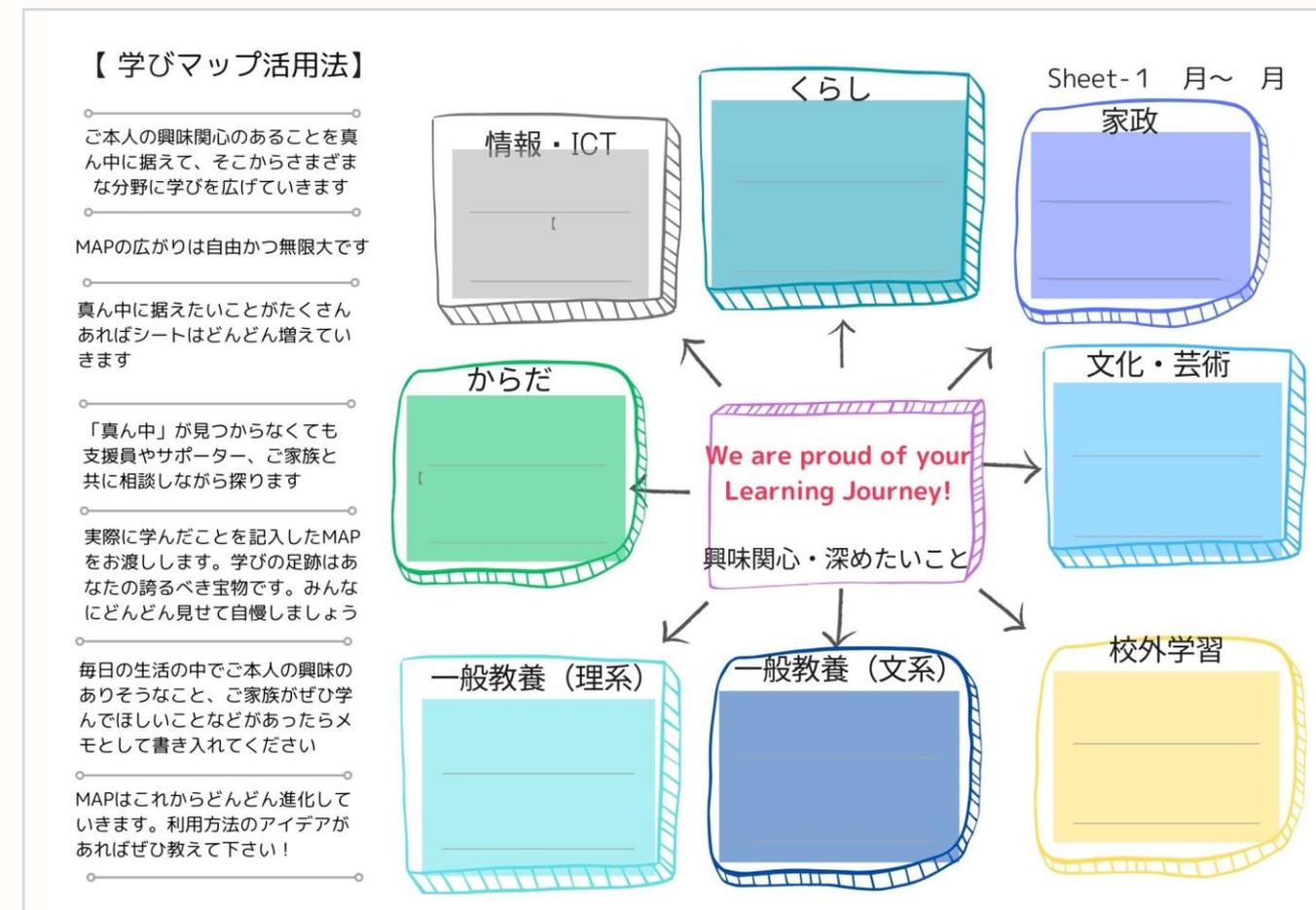
それがBe Prau学びマップです。

見えにくい学びの見える化(見えにくさ＝個別・訪問型の超重症児者というマイノリティの学び/学びのプロセスを関係性ごと軌跡として残す)

学び支援の見える化(「表出→応答→解釈→実行→経験」のプロセス)

対等な主体間の関係性が見える化(ご本人×支援者)

関係性支援の見える化(一般化)(専門職以外も参加できる型へ)



「見えにくい学び」を「見える化」することで、  
カレッジ生は自分の主体に気づき、  
関わる人たちはカレッジ生の意思決定を関係性で支えます

# 「Be Prau 学びマップ体験」で “誰もがともに学ぶ”、を目指す



## 意思決定はみな同じ

意思は一人で完結せず、他者とのやりとりや場の影響の中で形になる——障害の有無に関わらず、私たち誰もがそうです。その過程を体験します。



## 主体を立ち上げるとは

健常の特権ゆえ見落としがちな主体の立ち上がり。重い障害の方には、感じやすさを支える支援が必要——ことばに頼らない対話も体験します。



## 学び=暮らし全体

生活・遊び・ケア・交流など、日常をまるごと学びに再編。特別な場に閉じず、日常を機会化する実践を体験します。



## ことば以外とつながる

ことばを超えたコミュニケーションの豊かさを理解し多様な表現方法の大切さを体験。視線・呼吸、表情などの表出をされる方々に思いを馳せます。



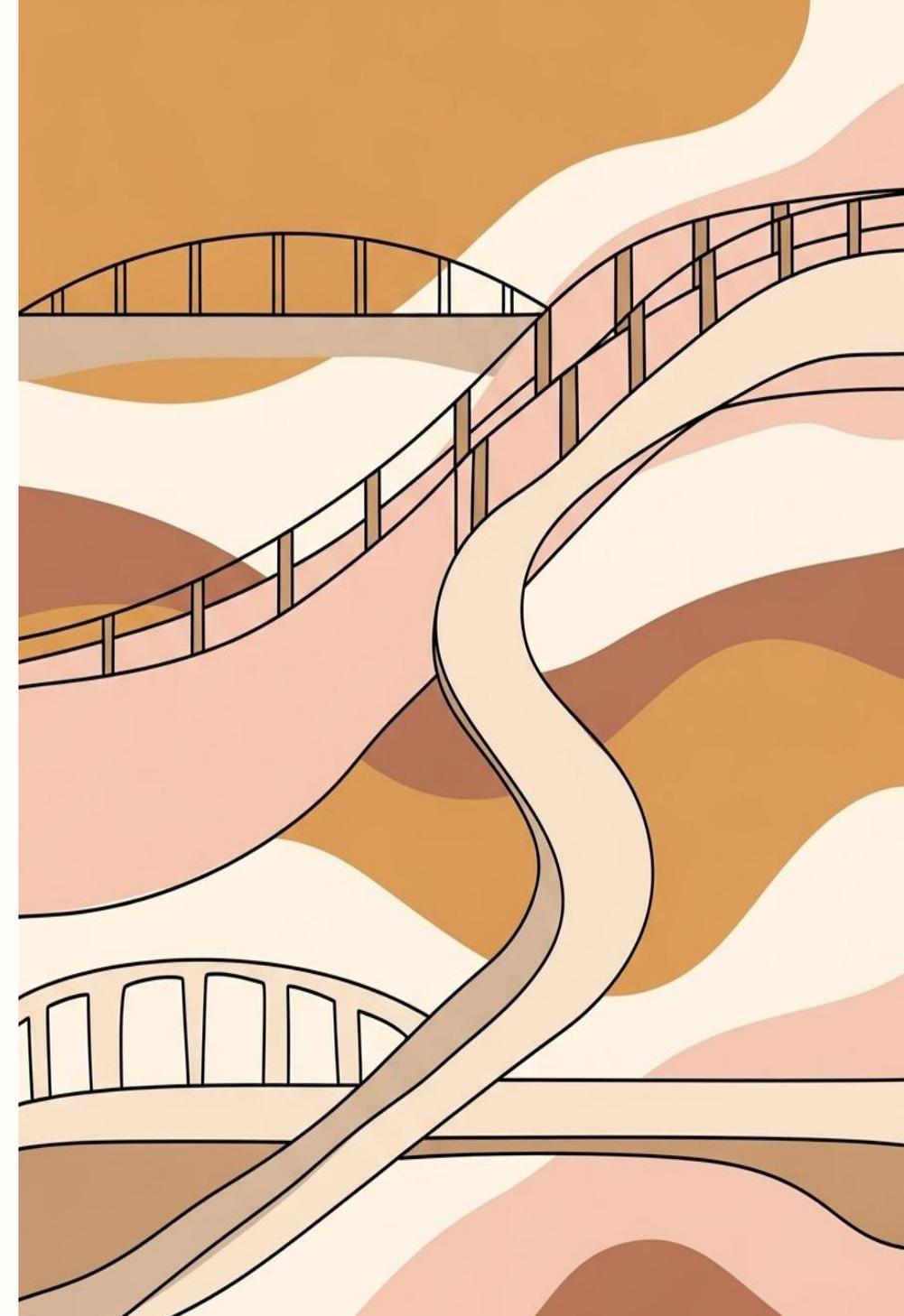
## 機会と選択肢の設計

小さな「選べる」を積み上げて次の一步へ。日常の中に自然に**選択の機会**を織り込み、主体を立ち上げる環境をつくりを考えます。



## 価値の転換

「支援される人」から「ともに生きる人」へ。超重症児の学びのリアルを知り、誰もが学びサポートに関われる可能性を実感していきます。



Be Prau「学びマップ」を  
伴走設計の共通言語に

主体×主体を体感し、選択肢設計・非言語の応答・暮らしへの再編・価値転換までを掴む  
学びマップを共通言語として、すべての人の学びと成長を支える実践を広げていきます。

# 一番大切にしていること

## ご本人主体(≠主体的な学び)

「主体」は、存在そのもの  
「主体的」は、行動の評価  
重い障害は「主体」を見えにくく感じにくくしますが、私たちは、関係性の中でその輪郭を濃くしていきます  
行動の評価ではなく  
そこから生まれる“意味の立ち上がり”を大切にします

## 関わるの人の全てのプロセス

主体(カレッジ生)×主体(学習支援員・サポーター)の出会いと関係性を土台に関わる人すべてのプロセスを大切にする  
Be Prauの学び支援  
その「ゆるやかであたたかなつながり」が地域をエンパワメントしていきます

## 誰もが等しく“社会を生きる人”

カレッジ生は「支援される人」「ケアされる人」ではなく、私たちと同じ「社会を生きる人」  
共に学び合う楽しさ、発見は「この広い世界で生きるわたし」の実感へとつながり、  
他者を「分けて」「測る」線引きを越えていきます



# 私たちの長所

## 1 訪問型で”参加の前提” をつくる新規性

社会の前提=「通う」でとりこぼされてきた人たちへ

訪問型=ご本人が安心していただける  
場所で応えます

心身のありのままの尊重と  
それぞれの歩調を大切にします

## 2 ”逆順”にネットワークを 編む実践知

アクセスが最も困難な方々を起点とした  
ネットワークの編み直し

この「逆順思考」は、真のインクルーシブ  
社会実現への有効なアプローチです

## 3 価値変容の“足場” & 社会接続の“ハブ”

「支援される人」から、学びと人生の主演へ

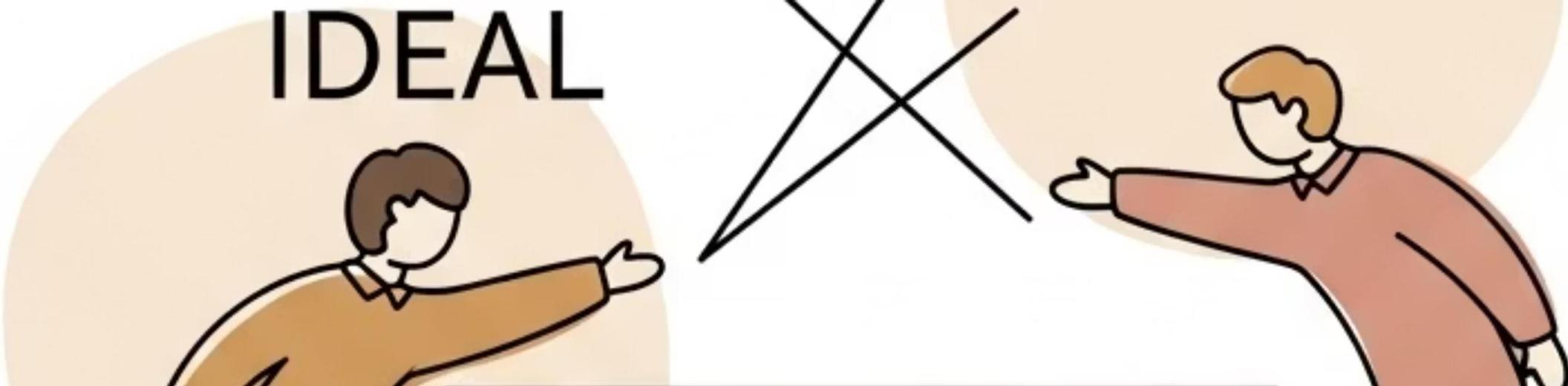
ことばに頼らず、主体×主体の関係性から関心をひらく

“意思決定”は誰にでもあります

Be Praulは価値観を更新し、地域との線引きをほどくハブになります



「届かない」と諦めてきた方々に  
新しい学び・生き方の可能性を開きます



# 描く理想と、いまの課題

## 描く理想

一人の『学びたい』から  
地域が強くなる包摂の連鎖  
最も支援が必要な方の参加が実現することで  
誰もとりこぼさない地域を実現

## いまの課題

- “誰でも学びサポーター”へ
- 制度との接続
- 持続可能な資金モデルの多層化
- 関係性の質の保持

## アプローチ

主体の小さな願いを支える”一点突破設計”  
ゆるやかであたたかなつながり

# 今後の予定

1

10月7日(火) 人間総合科学大学 講義  
地域・在宅看護援助論Ⅰ  
(Be Prau 学長 西村理佐)

2

11月24日(祝・月) 「学びマップ体験研修」  
「自分らしさ」を見つける支援  
埼玉県医療的ケア児等支援センターと共催  
対象者:埼玉県内で重症心身障害児者に関わる支援者50名



3

12月2日(火) 立正大学 講義  
共生の福祉学  
(Be Prau 学長 西村理佐)

4

12月13日(土) スイッチ講座第2弾  
障害を越えて、みんなでゲームを楽しもう！  
第1弾で学んだおもちゃ改造を体験。小さな工夫で誰もが  
一緒に遊べることを実感し、自分にできることを見つけます。  
特定非営利活動法人合と共催(仮)

5

1月(予定) 成果報告学習会  
今年度の実践成果を報告&ミニコンファレンス(仮)

# クロージング

## 一人の学びから、地域が変わる。

- 参加が最も困難な人の「学びたい」 インクルージョンのエンジン
- 「障害者の」を前提としない学び 生涯学習を全ての人のものに
- 共に歩む地域づくり 全国の実践と手を携えて

## ご一緒にしましょう。

一般社団法人ケアの方舟 / 訪問カレッジ「Be Prau」

<https://carenohakobune.com>

<https://beprau.com>



「Be Prau」リベラルアーツ  
実践報告動画



目白大学  
「訪問カレッジサポーター」  
紹介動画



SNS  
メール



I'm proud of you!

Be proud of yourself!

Be the world we can be proud of!

And thank you for your attention.

*Risa Nishimura*